

1 事業計画

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
1-1	○アンモニアでの専焼を選択したのはなぜか。【松川委員】 ○グリーンアンモニアではなく、ブルーアンモニアを選択したのはなぜか。【松川委員】	※事業者から、カーボンニュートラル化の将来的な情勢を見据えての選択であること、グリーンアンモニアの活用も考えている旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—
1-2	○アンモニアの取り扱いはどうにするのか。【上村委員】 ○アンモニアの輸送について、漏洩するリスクはないのか。予測・評価を行わないのか。【中坪会長】	アンモニアの取り扱いについて、アンモニア利用における安全性への懸念の声があることに留意し、漏洩対策を列挙するだけでなく、具体的かつ分かりやすい記載内容とすること。	1
1-3	○2案記載されているが、ケース2の場合、排出ガスの量がケース1より多い。ケース2を選択する利点はあるか。【香田委員】	※事業者から、ケース2の方が開発が進んでいるという利点がある旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—
1-4	○ケース2の場合、 N_2 と H_2 に分離するためにエネルギーを使用するのか。【金田一委員】	※事業者から、起動時にLNGを使用し、その後は水素ガスを燃焼させて分解する旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—

2 環境影響評価の項目及び調査・予測・評価の手法

○ 大気質

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
2-1	○燃料の輸送に用いる船について、頻度や停泊時間は、現状と比較するとどのように変化すると考えているか。【香田委員】	工事用資材の搬出入及び燃料等の運搬における大気質への影響について、使用する船舶も予測及び評価の対象に含めること。	2(1)

○ 水質

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
2-2	○水の濁りの調査についてどのように調査地点を選定したのか。どのような評価方法で行うのか。【内藤委員】 ○事業計画地は埋立地なので建物を建てる際、杭打ちによる水の濁りは発生しないのか。【上村委員】	工事の実施による水の濁りについては、雨水の影響によるものだけでなく、杭打ち等の工程で生じる排水も含め、濁水対策後の水量及び水質を明らかにしたうえで、適切に調査、予測及び評価を行うこと。	2(2)

○ 景観

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
2-3	○周辺の風景に調和した施設とは、具体的にはどのようなものか。【上村委員】 ○どのような建物になるのか、イメージ図はあるのか。高さや規模は既存の発電所と同様となるのか。【保坂委員】	※事業者から、広島市景観計画の景観重点地区に入るため、奇抜な色を使わないなど、現状から大きく変わらないよう配慮する旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—

○ 温室効果ガス等

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
2-4	○ケース1とケース2で副生成物として出てくるものに違いはあるか。【和崎委員】 ○ケース1とケース2で排出されるものに違いはないか。【金田一委員】	温室効果ガスの種類について、アンモニア燃焼時のN_2Oの生成も考えられるため、必要に応じて項目の追加を検討すること。	2(3) ア
2-5	○アンモニアの種類の選択により、ライフサイクル全体でのCO_2削減にどの程度寄与すると考えているのか。【松川委員】 ○ライフサイクルでの評価について、アンモニアの種類も含めるのか。【中坪会長】	温室効果ガスの予測及び評価について、燃料のライフサイクルに基づき算出するにあたっては、既設発電所のプロセスも比較対象に含めて行うこと。また、事後調査についても実施を検討すること。	2(3) イ